

研究班番号【78】  
祈りの大地 インド

英語班:石塚 大裕、寺田 龍之介、山分 悠市

## 要約

神話について興味があり、神話について調べていると、神話と文化は何か繋がりがあられるのではと考えた。そこで、世界中の神話神話を調べ、その中でもインド神話について深く調べた。インド神話には並外れた話が多いのが特徴であり、それはスケールの大きい自然の影響を受けているからだと考えた。

## 1. はじめに

大人気漫画の「ワンピース」「進撃の巨人」が大好きなわたしたちは、「ワンピース」「進撃の巨人」が様々な神話のエピソードから引用されて、話の展開が進んでいることを知っていた。そこから神話に興味を持ち、神話について調べていると、神話と文化は何か繋がりがあられるのではないかと考えた。そこで、それぞれの神話を読み解くことで、その土地の文化がわかり、異文化理解につながるのではないかと思い、研究を始めた。

## 2. 研究手法

どの神話を研究するか決めるために、世界中の神話のあらすじをそれぞれ調べた。この研究では、北欧神話、日本神話、ギリシャ神話、インド神話を調べることにした。そこから、北欧神話、日本神話、ギリシア神話には共通する話が多いことに気がついた(世界の始まりが混沌から始まっていたことなど)。そこで、インド神話だけ類似する点が見られなかったため、インド神話に興味を持ち研究することにした。研究は主に文献やインターネットを用いた調査、考察となっている。

## 3. 結果

インド神話は世界神話の中でもやはり並外れているということが調べていく上でわかっていった。その例として、まず内容が厳格ではなく、少し適当に書かれているということがわかった。また、日本神話など最高神が一つに定まっているのに対して、インド神話は最高神がブラフマン、シヴァ、ヴィシュヌの三体であったり、その中でもシヴァという神は破壊神であり、自分に気に入らないことがあれば、すぐになんでも破壊したりなどとにかくインド神話は常軌を逸している神話であることが理解できる。その内容が少し常軌を逸しているということで、インド人の生活にも何か関係があるのではないかと思いNHKがYoutubeに投稿していた動画から理解を深めようとした。するとインド人は、トラ以外のほとんどの動物に対して神聖視していることがわかった。なぜトラ以外がという点に関しては、研究の内容から逸れているため今回は研究の対象としませんでした。そして上記で述べた内容から次の考察につなげていく。

## 4. 考察

インドの地理は、もともと南半球に位置した独立したインド大陸が徐々に北上してユーラシア大陸と衝突してきたヒマラヤ山脈や、大インド砂漠、デカン高原など、多様性に富んでいる。その多様性に富んだインドの大自然がその土地の人間の創造力を駆り立てて、壮大な神話を作り上げたのではないかと私たちは考えた。

## 5. 結論

この研究から、インドはあらゆるものが混沌とした不思議な国であることがわかった。信仰の川ガンジスのほとり、厳しい修行を続ける修行僧たち、手つかずの自然と素朴な人々の暮らしが残るデカン高原など、数千年前の歴史が受け継がれ自然と調和しながら生きるインドの人々の生活と大自然がある。その自然がインドの人々の感覚に作用して、壮大な神話を生み出したのだと僕たちは考えた。また、神話と文化の関わりについての研究は少ないので、神話と文化の研究がこれから増えていくことを願う。

## 6. 参考文献ならびに参考Webページ

- ・図解 世界5大神話入門 著 中村圭志
- ・ヨーロッパとアジアにおける神話から文化への影響 3年3組 52班
- ・「祈りの大地 インド」NHK世界・大自然紀行
- ・世界の始まりの物語 吉田敦彦
- ・世界の神様解剖図鑑 平藤喜久子
- ・眠れなくなるほど面白い図解ギリシャ神話 島崎 晋
- ・インドの文化入門 辛島 昇